

まちの活性化

地域消費を促し、
町内外から人を呼べるまちに

今年度発売予定のプレミアム商品券および 昼食限定スタンプラリーについて紹介します。

※町が町商工会へ委託し、商工会が実施します。

【問合せ先】

▼日野町商工会

電話 72-0249

▼役場産業振興課

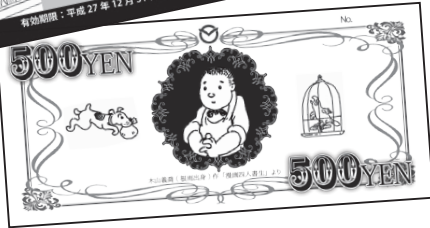
電話 72-2101

日野町プレミアム付き商品券



▼商品券

▲表紙



【発売日】4月27日(月)～ ※なくなり次第終了

【有効期限】12月31日(木)

【販売内容】1冊(500円×25枚つづり)12,500円分の
商品券を10,000円で販売します。

【購入限度】1人3冊まで 【発行冊数】2,400冊

【使用区域】日野町内(商工会会員店舗に限る)

【販売場所】町商工会(根雨)、うめや(黒坂)、
商工会「御用きき号」※御用きき号の販売は注文制

＜商品券キャラクターには木山義喬著『漫画四人書生』登場人物を使用＞

木山義喬(1885 - 1951):日野町出身の洋画家。2015年で生誕130年を迎える。

「漫画四人書生」:1927年自らの渡米経験をユーモラスに描いた漫画「北米移民史」を、4年後に「漫画
四人書生」と改題し、出版したもの。

木山義喬をモデルにしたヘンリーのほか、3人の義喬の友人たちが四人の書生として登場。

昼食限定スタンプラリー

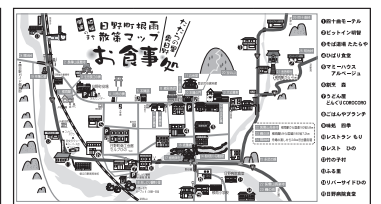
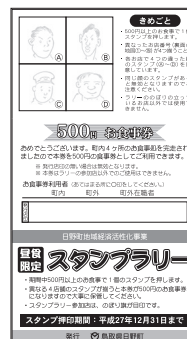
【開催期間】4月27日(月)～12月31日(木)

【内容】1回の食事につき、500円以上のメニューで1つの
スタンプを押します。4つ集めると500円分の商品券
になります。

※ただし、4つのスタンプはそれぞれ別々の店舗の
利用に限ります。

【発行枚数】5,000枚

【参加店舗】四十曲モーター、ピットイン明智、そば道場 たたらや、ひばり食堂、マミーハウス アルページュ、
割烹 森、うどん屋 どんぐり COROCORO、ごはんやランチ、味処 四季、レストラン もり、レスト ひの、
ルートサイド竹の子村、ふる里、リバーサイドひの、日野病院食堂



◀▲スタンプカード(左が表)
スタンプのデザインは、「漫
画四人書生」を使用

みんなで“きらりと光る”まちづくりを進めませんか ご意見をお寄せください。

町では、日野町版地方創生事業の立案にあたり、町職員全員はもとより、一部町内事業所など
にも幅広く意見を募集しました。

さらに、地方創生、まちづくりに関することなど、幅広く町民の皆さまから意見や提案をいた
だきたいと思います。ふるってお寄せください。

募集内容

地方創生やまちづくりに関する提案や意見

意見募集方法

- ▶特に様式は定めていません。
- ▶ご意見は、役場企画政策課窓口、電話、FAX、
Eメール、郵送などで受け付けています。

募集期間

5月29日(金)まで随時募集

応募および問合せ先

〒689-4503 日野町根雨101

日野町役場企画政策課

【電話】0859-72-0332

【FAX】0859-72-1484

【Eメール】kikaku@town.hino.tottori.jp

元気な限り楽しみたい

川上文字さんが「平成26年度全国食生活改善名誉会員」を受賞



受賞を喜ぶ川上さん（中央）

3月13日、川上文字さん（根雨）が、全国食生活改善推進員団体連絡協議会から名誉会員賞を受賞し、役場へ報告に訪れました。

これは、川上さんが昭和55年の日野町食生活改善推進協議会設立から現在まで約35年間、会員として活躍していることが認められたもので、日野町では初めての受賞となりました。

川上さんは「今まで楽しく続けてこられた。これからも元気な限り、会員の研修などに参加していきたい」と、喜びを語っていました。

親睦と助け合いの精神を深める

グラウンドゴルフ大会と炊き出し訓練



多くの熱戦が繰り広げられる

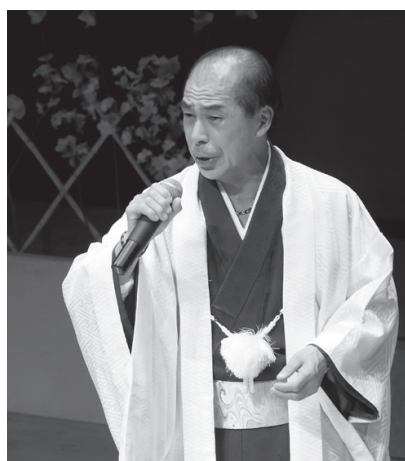
自治会や住民同士の助け合いの精神や親睦を深めてもらおうと、黒坂コミュニティ推進協議会、黒坂自主防災委員会、黒坂カワコふれあい公園管理委員会の共催で、3月15日、黒坂地内でグラウンド・ゴルフ大会と炊き出し訓練が行われました。

カワコふれあい公園で開かれたグラウンド・ゴルフ大会では、黒坂・菅福地区から8チームが参加し、腕前を競いました。町公民館では、日野町赤十字奉仕団の皆さんが、水を入れるだけで食べられる防災食と芋煮の炊き出しを行いました。

グラウンド・ゴルフの表彰式後には、参加者全員に防災食と芋煮が振る舞われ、賑やかな声が響いていました。

歌や踊りの愛好家らが熱唱

東日本大震災復興チャリティー・第5回ひの歌謡・演芸大会



出演者の熱い歌声に会場からは大きな拍手が送られる

入場料の一部を東日本大震災の被災地へ送り、復興に役立ててもらおうと、3月15日、第5回ひの歌謡・演芸大会（ひの歌謡・演芸友の会主催）が、町文化センターで開かれました。

当日は、地元日野町をはじめ、県西部や島根県松江市から合計45組が出演し、自慢ののどや舞を披露しました。会場は多くの来場者で満席となり、歌に合わせ手拍子を打ちながら聞き入っていました。

3月16日、同会代表の松村譲さんが役場を訪れ、集まった入場料の一部などの義援金、総額5万円を東日本大震災被災地にと景山町長に手渡しました。松村さんは「まだ10年は続けたい」と意気込みを語っていました。

入山禁止の山には
入らないようにしましょう

「入山禁止」「とめ山」などの表示がある山林などに、無断で入り山菜などを採らないようにしてください。

町内には入山禁止の区域がありますので、ご注意ください。